ELECOM

USB

USB・PS/2
ワイヤレス・イメージセンサマウス
M-KD2UP2R シリーズ
取扱説明書(Windows 用)

ワイヤレスマウスにおける注意事項

・本製品には電池の消耗を防ぐためスリープモード機能があります。約 1 秒操作がありませんとスリープモードに移行します。解除はスリープモード時に何らかの操作があれば通常モードに戻ります。
・本製品は 27MHz 周波数帯の微弱電波を使用しています。まれに外部からこの周波数と同じ電波を受けた場合、誤動作する場合があります。重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
・微弱電波を使用していますが、電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがありますので、航空機内や病院など使用を禁止されている所ではご使用にならないでください。
・電池が消耗している場合、動作が不安定になることがありますので、その場合は新しい電池に交換してください。
・また製品の流通過程におきまして長い時間が経過している場合がありますので、動作が不安定な場合は新しい電池に交換してください。
・本製品の近くで携帯電話をご使用される場合に電波の影響を受けて動作が不安定になる場合がありますので、影響を受けない距離を保ってください。
・ケーブルを受信機本体に巻きつけた状態で使用しないでください。受信性能が低下する場合があります。

※ 本製品は"微弱電波機器"ですので郵政大臣の無線局許可は必要ありません。電波法に準拠しています。

もくじ

はじめに

このたびはワイヤレス・イメージセンサマウス M-KD2UP2R シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
Windows で本製品をご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく本製品を使用してください。
Macintosh でご使用になる場合は、Macintosh 用取扱説明書をご覧ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。全部そろっているかお確かめください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

・マウスユニット…………………… 1台
・レシーバユニット………………… 1台
・PS/2変換アダプタ ……………… 1個
・ドライバディスク(8cm CD-ROM)… 1枚
・単3形アルカリ乾電池 …………… 2本
・取扱説明書(Windows用)(本書です) 1冊
・取扱説明書(Macintosh用)………… 1冊

仕様

分解能	800カウント/インチ	
ケーブル長	1.5m	
外形寸法	マウスユニット	(W)58mm×(D)110mm×(H)36mm
	レシーバユニット	(W)50mm×(D)75mm×(H)15.5mm

●電力性能

連続マウス作動時間	76時間
連続待機時間	286日
想定使用可能時間	約45日(週5日・1日8時間のパソコン操作中25%をマウス操作に割り当てた場合)

手順の流れ

本製品をお使いになるまでの手順の流れについて説明しています。

1 マウスユニットに電池を挿入します。（p.6）

2 レシーバユニットをパソコンに接続します。（p.8）

3 エレコムホイールユーティリティをインストールします。（p.16）

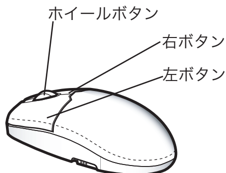
4 マウスユニットとレシーバユニットのチャンネルと ID を合わせます。（p.19）

5 本製品を使用します。

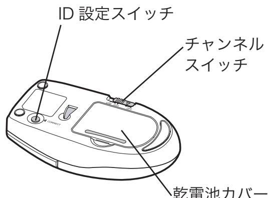
各部の名称と機能

マウスユニット

上面

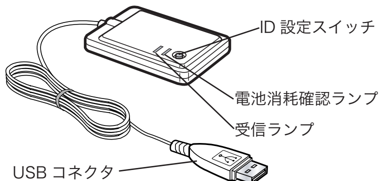


底面

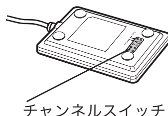


レシーバユニット

上面



底面



電池消耗確認ランプ	電池の容量が残り少なくなったときに点灯します。この LED が点灯したときは、電池を交換してください。
受信ランプ	マウスユニットからの電波を受信すると点灯します。

お使いになる前に

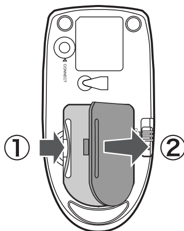
■電池を入れる前に

本製品で使用できる電池について

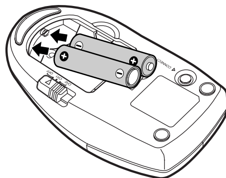
本製品で使用できる電池は、市販されている単 3 形アルカリ乾電池が使用できます。
新しい乾電池に交換したときの連続待機時間はおよそ 286 日です。
また、週 5 日・1 日 8 時間操作し、そのうち 25% をマウスの操作に割り当てた場合、約 45 日間動作します。

■電池を入れる

1 **マウスユニット底面の電池カバーを開きます。**
①の部分を少し強く右に押すと、簡単に取り外せます。



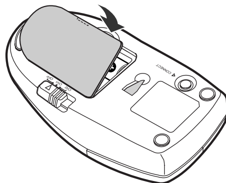
2 単 3 形アルカリ乾電池を 2 本とも電源ボックスに挿入します。





- 電池の＋と－の向きを間違えないように挿入してください。
- 乾電池は単 3 形アルカリ乾電池を使用してください。
- 長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 本製品に添付している乾電池は動作確認用です。

3 電池カバーを閉じます。



本製品を取り付ける

本製品は、USB 対応のマウスとして使用する場合と、PS/2 変換アダプタを接続して PS/2 対応のマウスとして使用する場合で動作する OS が異なります。また、MS-DOS、Windows®3.1、WindowsNT®3.51 以前では動作しません。

	USB	PS/2
Windows®98	○（p.9）	○（PS/2 変換アダプタを使用 p.13）
Windows®Me	○（p12）	○（PS/2 変換アダプタを使用 p.13）
Windows®95	使用できません	○（PS/2 変換アダプタを使用 p.13）
Windows®2000	○（p.12）	○（PS/2 変換アダプタを使用 p.13）
Windows®XP	○（p.12）	○（PS/2 変換アダプタを使用 p.13）
WindowsNT®4.0	使用できません	○（サービスパック 3 以降のみ使用可 PS/2 変換アダプタを使用 p.13）

※ Windows®2000/Windows®XP および WindowsNT®4.0 で使用する場合は、Administrator 権限が必要です。

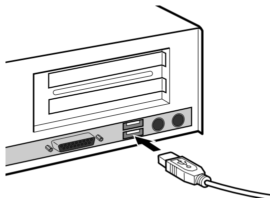
■本製品を USB ポートに取り付ける

Windows®98、Windows®Me、Windows®2000、Windows®XP などの OS を搭載した USB ポートを搭載したパソコンに本製品を取り付け、ドライバをインストールします。本製品は、MS-DOS、Windows® 3.1 および WindowsNT®3.51 以前では動作しません。
Windows®98、Windows®Me、Windows®2000 や Windows®XP などの OS によって、ドライバをインストールする手順が異なります。お使いの OS に合わせて参照してください。
Windows®98 に本製品を取り付ける場合は、「Windows®98 に本製品

を取り付ける」(p.3)を参照してください。
Windows®Me/Windows®2000/WindowsaXP に本製品を取り付ける場合は、「WindowsaMe/Windowsa2000/WindowsaXP に本製品を取り付ける」(p.11)を参照してください。
Windows®98、Windows®Me、Windows®95、Windows®2000、Windows®XP、WindowsNT®4.0 を搭載した USB ポートのないパソコンで、本製品を取り付ける場合は、「本製品を PS/2 ポートに取り付ける」(p.13)を参照してください。

Windows®98 に本製品を取り付ける

1 レシーバユニットの USB プラグをコンピュータの USB ポートや USB ハブのアップストリームポートに接続します。
USB プラグの上下方向を間違えないように、正しく接続してください。





・レシーバユニットは、パソコンの電源の ON/OFF に関係なく挿抜が可能です。
・他に USB 機器が接続されていて、パソコンや USB ハブに USB ポートの空きがない場合は、あらかじめ取り外しておいてください。

2 **レシーバユニットをパソコンに接続すると、自動的に認識されます。**
画面が表示されたら [次へ] ボタンをクリックします。



3 **「使用中の最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して[次へ]ボタンをクリックします。**



4 **すべてのチェックボックスにチェックせず[次へ]ボタンをクリックします。**



5 [次へ]ボタンをクリックします。
ドライバのインストールが始まります。



メモ 使用しているパソコンによっては、Windows®98 の CD-ROM ディスクを要求される場合があります。

6 [完了]ボタンをクリックします。



これでインストールが完了しました。

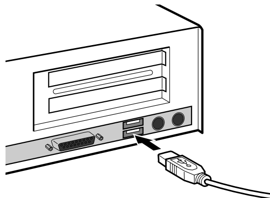
次にエレコムホイールユーティリティをインストールします。「エレコムホイールユーティリティをインストールする」（16 ページ）に進んでください。

Windows®Me/Windows®2000/Windows®XP に本製品を取り付ける

1 **Windows®2000 や Windows®XP で本製品をお使いの場合は 、Administrator 権限を持ったユーザでログオンします。**
Windows®Me でお使いの場合は、そのまま手順 ***3*** に進んでください。

Windows®2000 や Windows®XP で 本 製 品 を お 使 い の 場 合 は 、Administrator 権限がないと本製品をインストールできません。

2 **レシーバユニットの USB プラグをコンピュータの USB ポートや USB ハブのアップストリームポートに接続します。**
USB プラグの上下方向を間違えないように、正しく接続してください。



メモ
・本製品は 、パソコンの電源の ON/OFF に関係なく挿抜が可能です。
・他に USB 機器が接続されていて、パソコンや USB ハブに USB ポートの空きがない場合は、あらかじめ取り外しておいてください。

3 **本製品をパソコンに接続すると、自動的に認識されます。**

これでインストールが完了しました。
次にエレコムホイールユーティリティをインストールします。「エレコムホイールユーティリティをインストールする」(16 ページ)に進んでください。

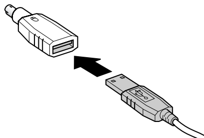
■ 本製品を PS/2 ポートに取り付ける

本製品に PS/2 変換アダプタを取り付けてパソコンに接続し、ドライバをインストールします。本製品は、Windows®98、Windows®Me、Windows®95、Windows®2000、Windows®XP、WindowsNT®4.0 (サービスパック 3 以降)専用です。
MS-DOS、Windows®3.1、WindowsNT®3.51 以前では動作しません。
ノートパソコンの PS/2 ポートに接続する場合、内蔵のポインティングデバイスとの同時使用はできません。ノートパソコンの PS/2 ポートに接続する場合は、内蔵のポインティングデバイスを無効にしてください。ただし 、機種により内蔵のポインティングデバイスを無効にできないものがあります。
WindowsNT®4.0 に本製品を取り付ける場合 、必ずサービスパック 3 以降を導入してください。

レシーバユニットをコンピュータの PS/2 ポートに接続します。

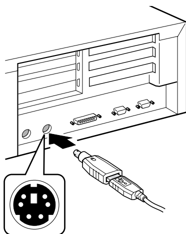
1 **パソコン本体と接続している他の周辺機器の電源をすべて OFF にします。**
他にマウスが接続されている場合は、先に取り外しておいてください。

2 プラグの上下に注意して、本製品のUSB コネクタに、PS/2 変換アダプタを取り付けます。



コネクタの上下を間違えないようにしてください。間違ったまま差し込むと、本製品の故障の原因になります。

3 パソコンの PS/2 ポートに本製品を接続します。



コネクタの上下を間違えないようにしてください。間違ったまま差し込むと、本製品の故障の原因になります。

4 パソコンの電源を ON にします。
Windows®2000/Windows®XP、WindowsNT®4.0 で本製品をお使いの場合は、Administrator 権限を持ったユーザでログオンします。

Windows®2000/Windows®XP、WindowsNT®4.0 で本製品をお使いの場合、Administrator 権限がないと本製品をインストールできません。

5 **本製品が自動的に認識されます。**
Windows®2000 と Windows®XP をお使いの場合のみ、再起動を促すダイアログが表示されます。「はい」ボタンを押して Windows を再起動します。



Windows®98/Windows®Me/Windows®95/WindowsNT®4.0 をお使いの場合は、再起動することなく本製品を使用できます。Windowsa2000 と WindowsaXP をお使いのときのみ、再起動後に本製品が使用できます。

これでインストールが完了しました。
次にエレコムホイールユーティリティをインストールします。「エレコムホイールユーティリティをインストールする」(16 ページ)に進んでください。

エレコムホイールユーティリティをインストールする

本製品をパソコンに接続してドライバをインストールした状態では、本製品は Windows 標準の Intelli®Mouse 互換マウスとして動作します。本製品独自のホイール機能は、エレコムホイールユーティリティをインストールすることで使用できます。次の手順で「エレコムホイールユーティリティ」をインストールします。



Windows®2000、Windows®XP、WindowsNT®4.0 で本製品をお使いの場合は、Administrator 権限がないと本製品をインストールできません。



ここでは Windows®98 でのインストール手順を説明していますが、Windows®Me/Windows®95/Windows®2000/Windows®XP/WindowsNT®4.0 をお使いの場合でもインストール方法や表示されるダイアログは変わりません。Windowsa98 と同じように、次の手順で「エレコムホイールユーティリティ」をインストールしてください。

1. **Windows®2000、Windows®XP、WindowsNT®4.0 で本製品をお使いの場合は、Administrator 権限を持ったユーザでログインします。**
   Windows®98、Windows®Me および Windows®95 でお使いの場合は、そのまま手順 ***2*** に進んでください。

2. **ドライバディスクの CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。**

3. **「スタートメニュー」-「ファイル名を指定して実行」の順に選択します。**
   ファイル名を指定して実行ダイアログが表示されます。

4 **「e:¥win¥setup」と入力し[OK]ボタンをクリックします。**
セットアッププログラムが起動します。



メモ 手順の「e:¥win¥setup」は CD-ROM ドライブ名が「E」の場合です。ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブ名に読み替えてください。

5 **インストール先のフォルダを確認して[次へ]ボタンをクリックします。**

メモ インストール先を変更する場合は[参照]ボタンをクリックして、インストール先のフォルダを指定します。



6 **[次へ]ボタンをクリックします。**
エレコムホイールユーティリティのインストールが始まります。



7 **必要に応じてチェックボックスをチェックし、[完了]ボタンをクリックします。**



- **「終了する前に ReadMe.txt の内容を表示する」**
  ・・・・・・ [完了]ボタンを押した後に ReadMe.txt を表示します。
- **「終了後、コンピュータを再起動する」**
  ・・・・・・ [完了]ボタンを押した後、自動的にパソコンが再起動します。**「終了する前に ReadMe.txt の内容を表示する」**チェックボックスと同時にチェックしているときは、ReadMe.txt を表示しているアプリケーションを終了すると、自動的にパソコンが再起動します。

パソコンの再起動後に「エレコムホイールユーティリティ」が使用できます。

「ホイールユーティリティ」の操作方法については「ホイールユーティリティを使う」(21 ページ)を参照してください。

マウスを使う

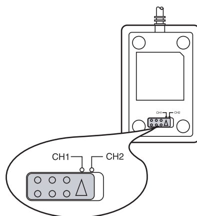
■チャンネルを合わせる

マウスユニットとレシーバユニットのチャンネルを合わせます。
本製品の出荷時の設定では、マウスユニットは OFF になっており、電源が OFF になっています。レシーバユニットのチャンネル設定は CH1 になっています。

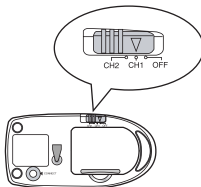
1 **レシーバユニット底面にあるチャンネルスイッチを確認します。**



本製品の出荷時では、「CH1」に設定されています。



2 **マウスユニット底面にあるチャンネルスイッチを手順 *1*で確認したチャンネルにあわせます。**



■ ID を設定する

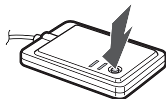
マウスユニットとレシーバユニットの ID を設定します。ID を設定することで、本製品が狭い範囲に複数ある場合でも混信を防ぎます。また、本製品をパソコンに初めて接続してドライバをインストールした後は、必ずマウスユニットとレシーバユニットの ID 設定する必要があります。ID を設定することで、最大 1024 台まで使用できます。

ID を設定する前に必ず、マウスユニットとレシーバユニットのチャンネルを合わせておいてください。チャネルが合っていないと ID が正しく設定されません。

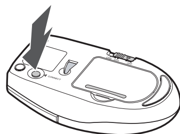
1 **マウスユニットが機能している状態にします。**

2 **レシーバユニットが機能している状態にします。**

3 **レシーバユニットの ID 設定スイッチを押します。**
受信ランプ(緑色の LED)が点滅します。

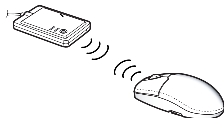


4 **マウスユニット底面の ID 設定スイッチを押します。**
受信ランプの点滅が終わると、ID が自動的に設定されます。



チャンネルを変更したときは、ID を再度設定しなおす必要があります。

■レシーバユニットを設置する



マウスユニットの発信する電波が受信できるように、レシーバユニットを設置します。
マウスユニットから 1m 以内の設置が理想的です。設置環境によっては、1m 以内に設置しても正常に動作しないことがあります。この場合は、レシーバユニットをマウスユニットに近づけてください。マウスが動作しなかったり動作が不自然な場合は、正しく電波を受信できていません。

■スリープモードについて

電池の消耗を防ぐため、マウスを 1 秒以上操作しないときはスリープモードになります。スリープモードを解除するには、ボタンをクリックするか、マウスを動かすとスリープモードが解除されます。



スリープモードを解除してもマウスの反応がないときは、レシーバユニットがパソコンに正しく接続されているか、マウスの電波を受信する範囲に設置しているかを確認してください。

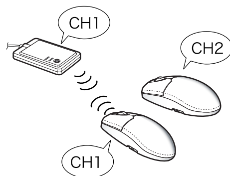
■長時間使わないときは

本製品を長時間使わないときは、マウスユニットのチャンネルスイッチを OFF にしてください。マウスの電源が OFF になり、電池の消耗が抑えられます。

■ホイールについて

本製品の中央にあるホイールは自動車のタイヤのように前後に回転します。これを前後に回転させることにより Windows をより快適にご使用いただけます。このホイールは、ボタンとしても動作します。ホイールを押すことで 3 ボタンのマウスとしても機能します。

■複数台のワイヤレスマウスを使うときは

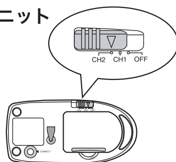


本製品は無線を使用しているため、同じ ID の本製品が狭い範囲に複数ある場合混信してしまいます。混信が起こる場合は、使用するペアのユニットの ID を設定しなおしてください。
ID を設定しなおしても、混信が発生する場合は、レシーバとマウスのペアごとのチャンネルを変更すると混信が発生しないようになります。
設定できるチャンネルは 2 つあり、本製品の出荷時には CH1 に設定されています。

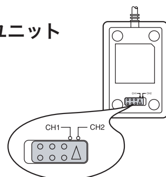
■チャンネルを変更する

マウスとレシーバユニットのチャンネルを変更するには、マウスユニット、レシーバユニットそれぞれのチャンネルスイッチを合わせてください。

マウスユニット



レシーバユニット



ホイールユーティリティを使う

■動作モードについて

本製品には、2 種類の動作モードがあります。


本書では「Office97 互換アプリケーション」とは、Office97 や Office97 と同様の手法によって IntelliaMouse に対応したソフトウェアのことを総称して表記しています。

Office97 互換モード

Office97 互換アプリケーション上で、Microsoft IntelliaMouse と同様の動作をします。エレコムホイールユーティリティをパソコンにインストールせず本製品のドライバのみインストールしている場合は、Office97 互換モードで動作しています。

エレコムオリジナルモード(オリジナルモード)

エレコム独自のモードです。ほぼすべてのアプリケーションで動作し、エレコムホイールユーティリティを使ってマウスの動作を設定できます。初期値では、次のように動作するように設定されています。

ホイール回転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・上下スクロール(3 行単位)
SHIFT キーを押しながらホイール回転 ・・・・・・上下スクロール(ページ)
CTRL キーを押しながらホイール回転 ・・・・・・・左右スクロール(ページ)
ホイールボタンを押しながらホイール回転 ・・・左右スクロール(3 行単位)

また、Office97 互換モードとエレコムオリジナルモードの 2 つの「動作モード」を基本に、エレコムホイールユーティリティでは 3 つのモードが用意されています。

かんたんおまかせ設定

Office97 互換アプリケーションでは Microsoft IntelliaMouse と同様の動作し、その他のアプリケーションではエレコムオリジナルモードの初期値で動作します。

全てのアプリケーションで Office97 互換モードを使用

すべてのアプリケーションで Microsoft Intelli®Mouse と同様に動作します。Office97 互換アプリケーションでは Microsoft Intelli®Mouse と同様の動作をしますが、その他のアプリケーションでは、ホイール機能が使用できません。

アプリケーション毎設定

すべてのアプリケーションでマウスの動作を設定できます。また、アプリケーションごとに動作モードを設定できます。初期値では、次のアプリケーションのみ Office97 互換モードで動作するように設定されています。

- ・エクスプローラ Web 表示
- ・Microsoft Excel
- ・Microsoft Internet Explorer
- ・Microsoft PowerPoint
- ・Microsoft Word
- ・Windows のヘルプ
- ・一太郎 9



「エレコムホイールユーティリティ」をインストールした直後は、「かんたんおまかせ設定」に設定されています。

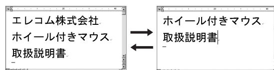
■Office97 互換モードでの動作

Office97 互換モードでの動作を説明します。

メモ エレコムオリジナルモードでは動作を個別に設定できます。設定の方法については「ホイールユーティリティについて」(26 ページ)を参照してください。

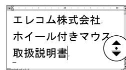
スクロール

ウィンドウ上でホイールを前後に回すと上下スクロールバーにポインタを合わせなくても画面を上下にスクロールできます。



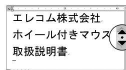
パン(連続スクロール)

ホイールを押しつづけながらマウスを動かすと、画面を好きなスピードで好きな方向に連続スクロールできます。ホイールを離せば、スクロールは終了します。



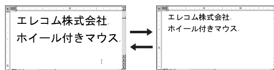
オートスクロール

ホイールをクリックしてからマウスを動かすと、画面が自動的にスクロールします。スクロールの速度と方向は、最初のクリック位置からの相対速度により変化します。再度、ホイールをクリックするとスクロールが終了します。



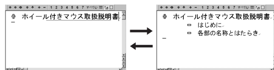
ズーム

[Ctrl] キーを押しながらホイールを回すと、画面が拡大・縮小します。



データズーム

[Shift] キーを押しながらホイールを回すと、データを折りたたんだり、再び開いて表示させたりします。



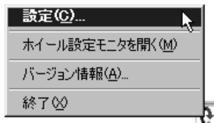
メモ 「データズーム」はアプリケーションによって動作が異なります。それぞれのアプリケーションのマニュアルやオンラインヘルプで確認してください。

■ホイールユーティリティについて

ホイールへの割り当て、ポインタの動作設定など、本製品のさまざまな機能を設定します。

メモ Windows®2000、Windows®XP、WindowsNT®4.0 では、ユーザごとに設定が保存されます。

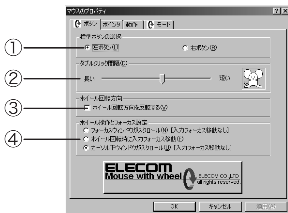
設定を行なうには、タスクトレイにあるアイコンを右クリックし、「設定」を選びます。「マウスのプロパティ」が表示されます。



■各項目の説明

●[ボタン]タブ

[ボタン]タブでは、マウスのボタン・ホイール動作を設定します。



①[標準ボタンの選択]

マウスボタン左右の機能を入れ替えます。通常は、「左ボタン」に設定されています。

②[ダブルクリック間隔]

ダブルクリックの間隔を設定します。スライダを右へ動かすと間隔が短くなり、左へ動かすと長くなります。右側のイラストでダブルクリックのテストができます。

③[ホイール回転方向]

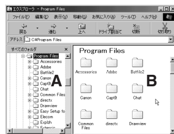
通常は、ホイールの回転は「前」に動かすと「上スクロール」、「後」に動かすと「下スクロール」に設定されています。「ホイール回転方向を反転する」をチェックするとその動作が逆になります。

④[ホイール操作とフォーカス設定]

1つのアプリケーション内に複数のスクロールバーがあるときに、スクロールバーの動きを設定します。

「フォーカスウィンドウがスクロール」

フォーカスがあるウィンドウがスクロールします。
右図のように、カーソルが「B」にあっても、フォーカスは「A」にあるので、「A」のウィンドウがスクロールします。

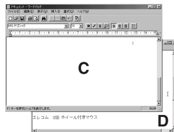


「ホイール回転時に入力フォーカス移動」

マウスカーソルの位置にフォーカスが移動します。
右図のように、カーソルが「B」にあるときにホイールを回転させると、フォーカスは「B」に移動して、「B」のウィンドウがスクロールします。

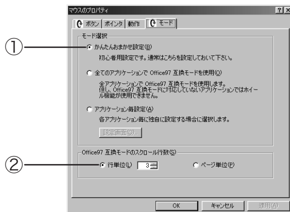
「カーソル下ウィンドウがスクロール」

フォーカスに関係なく、マウスがある位置にあるウィンドウがスクロールします。右図では、フォーカスは「C」にありますが、「D」のアプリケーション上にマウスカーソルがあるので、この位置でホイールを回転させると「D」のウィンドウがスクロールします。



●[モード]タブ

[モード]タブでは、ホイールの設定をします。



①[モード選択]

ホイールのモードを選択します。

- **「かんたんおまかせ設定」**
  初心者用の設定です。通常はこのモードを選択してください。
- **「全てのアプリケーションで Office97 互換モードを使用」**
  Office97 互換アプリケーションで Office97 の IntelliaMouse と同様の動作をします(Office97 と互換でないアプリケーションでは、2 ボタンマウスとして動作します)。
- **「アプリケーション毎設定」**
  各アプリケーションごとに、独自に動作を設定する場合に選択します。設定する方法については、32 ページを参照してください。

メモ 「アプリケーション毎設定」を選択した場合、本製品の仕様により 16 ビットアプリケーション(Windowsa3.1 用のもの)を設定しても無効となり「デフォルト」の設定が適用されます。あらかじめご了承ください。

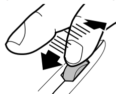
② Office97 互換モードのスクロール行数

Office97 互換モードでのスクロール速度を設定します。
「行単位」または「ページ単位」を設定します。行単位でスクロールする場合は、スクロールする行数も設定できます。

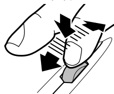
■ホイール動作の設定

ホイールには「ホイール回転」「SHIFT+ ホイール回転」「CTRL+ ホイール回転」「ホイールボタン」の 4 つの動作が設定できます。ホイールの動作内容は、[アプリケーション設定]ダイアログで設定します。

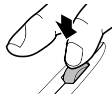
・ホイール回転
(SHIFT+、CTRL+)



・ホイールを押しながら回転



・ホイールボタン



メモ
- 「ホイールを押しながら回転」と「ホイールボタン」の機能を同時に設定することはできません。どちらか片方のみ設定できます。
- エレコムオリジナルモードでのスクロール機能は、スクロールバー操作と同等です。スクロール 1 行はスクロールバーの ▲ の 1 クリックに相当します。
- アプリケーションにより、動作に制限があります。
- ドライバディスクにある readme.txt には、現在判明している最新の制限事項が挙げられています。

■アプリケーションごとの設定

次の手順で、アプリケーションごとにマウスの動作を設定します。

1 **モード選択で[アプリケーション毎設定]を選択し[設定画面]ボタンをクリックします。**
[アプリケーション設定]ダイアログが表示されます。

2 **新しくアプリケーションを追加する場合は[追加]ボタンをクリックします。**
[アプリケーションの登録]ダイアログが表示され、現在動作中のアプリケーションの一覧が表示されます。すでに登録済みのアプリケーションの左側にはチェックマークが付いています。アプリケーションを選択すると下の[登録する実行ファイル名]と[登録アプリケーション名]の欄に自動的に入力されます。



- [更新]ボタンをクリックすると、[実行中のアプリケーション]欄のアプリケーションが最新のものに更新されます。
- 「デフォルト」は、追加されたアプリケーション以外のすべてのアプリケーションが対象になります。また、16 ビットアプリケーションは「使用するアプリケーションごとに設定する」で設定しても、この「デフォルト」の設定になります。
- 登録したいアプリケーションがリストにない場合は、[参照]ボタンをクリックして、実行ファイルを探します。登録アプリケーション名を入力します。ここでの入力は、ホイール動作を設定するアプリケーションを選択するときにのみ有効です。
- 一部のアプリケーションでは、あらかじめ動作が設定されているものがあります。
- アプリケーションにより、動作に制限があります。
- ドライバディスクにある readme.txt には、現在判明している最新の制限事項が挙げられています

3 **登録する内容を確認して[OK]ボタンをクリックします。**
[アプリケーション設定]ダイアログに戻ります。

4 **[アプリケーション設定]ダイアログに、手順 *2* で登録したアプリケーションが表示されています。アプリケーションについて、個別にホイールの設定をします。**
リストボックスから動作を選択してください。
登録したアプリケーションを削除したい場合は、削除したいアプリケーションの｢アプリケーション名｣セルを選択して[削除]ボタンをクリックします。
選択したアプリケーションを｢Office97 互換モード｣で使用する場合は｢モード｣セルを選択して、リストボックスから｢Office97 互換｣を選択します。
｢エレコムオリジナルモード｣で使用する場合は、｢モード｣セルを選択して、リストボックスから｢エレコムオリジナルモード｣を選択します。ホイール動作の詳細設定ができるようになります。

■ユーザー定義動作の設定

5 つの項目ごとにそれぞれユーザ独自の動作を定義できます。
(項目により、多少表示が異なりますが、基本的な定義方法は同じです。)



1 **モード選択で[アプリケーション毎設定]を選択し[設定画面]ボタンをクリックします。**
[アプリケーション設定]ダイアログが表示されます。

2 **ホイールの動作を設定するときに、ユーザ定義を選択します。**
[ユーザ定義]ボタンが選択できるようになります。ユーザ定義は 5 つまで設定できます。

3 **[ユーザ定義]ボタンをクリックします。**
[ホイール回転]ダイアログボックスが表示されます。

4 **「キーボード」「マウス操作」「遅延操作」のいずれかを選択し、必要に応じて設定します。**
「キーボード」では、自動入力するキーを選択します。
「Windows キー」や「Alt キー」などのキーとの組み合わせも可能です。「マウス操作」では、自動で行うマウスクリックを選択します。
「遅延操作」では、操作の途中の遅延時間を設定します。
動作の設定はホイールの回転の 1 ステップごとに、1 ステップごとに、「キーボード」、「マウス操作」、「遅延操作」のいずれかを選択して、[追加(上回転時)]ボタンまたは[追加(下回転時)]ボタンをクリックします。設定した項目が、上回転時、下回転時それぞれの設定内容ウィンドウに追加されます。



登録した操作を削除するには、削除したい操作をクリックしてから[削除]ボタンをクリックします。

5 **すべての設定が終わったら、名称を入力して[OK]ボタンをクリックします。**
[アプリケーション設定]ダイアログに戻ります。

設定例：

ここでは「Netscape 6」で「ホイール回転」に『進む / 戻る』を、「CTRL+ホイール回転」に『フォント大きさの変更』を割り当ててみます。

右の画面では、「ホイール回転」のユーザ定義 1 に設定したものです。「上回転時」に**「右ボタンクリック」+「F」**で「ページ送り」を設定し、「下回転時」に**「右ボタンクリック」+「B」**で「ページ戻り」を設定しています。

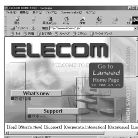


同様に、「CTRL+ホイール回転」のユーザー定義で「上回転時」に**「CTRL+；」**で「フォントの拡大」を設定し「下回転時」に**「CTRL+ ー」**で「フォントの縮小」を設定します。

「Netscape 6」で設定した内容が反映されます。



・**ホイール回転**
（ページ送り・戻り）



上回転



下回転



・**CTRL ＋ホイール回転**
（フォントの縮少・拡大）

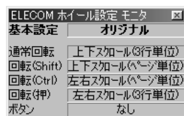




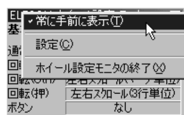


■ホイール設定モニタ

「ホイール設定モニタ」を使用すると、現在のホイールの設定状態がモニタできます。「ホイール設定モニタ」を起動させるには、[スタートメニュー]－[プログラム]－[エレコムホイールユーティリティ]－[ホイール設定モニタ]を実行するか、タスクトレイにあるアイコンを右クリックして「ホイール設定モニタを開く」を選択します。



「ホイール設定モニタ」はデフォルトでは、「常に手前に表示」に設定されています。前面表示したくないときは、[ホイール設定モニタ]ダイアログ上を右クリックしてメニューから「常に手前に表示」を選び、チェックをはずしてください。



■バージョン情報の表示

ホイールユーティリティのバージョンを表示します。
タスクトレイにある アイコンを右クリックして「バージョン情報」を選択します。



■ホイールユーティリティのアンインストール

次の手順でアンインストールします。



Windows®2000、Windows®XP、WindowsNT®4.0 で本製品をお使いの場合は、Administrator 権限がないと本製品をアンインストールできません。

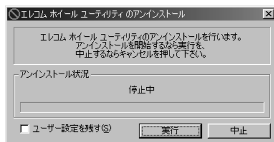
1 **Windows®2000、Windows®XP、WindowsNT®4.0 で本製品をお使いの場合は、Administrator 権限を持ったユーザでログオンします。**
Windows®98/Windows®Me/Windows®95 でお使いの場合は、そのまま手順 2 に進んでください。

2 **[スタートメニュー] -[設定] -[コントロールパネル] -[アプリケーションの追加と削除]の順にクリックします。**

3 「エレコムホイールユーティリティ」を選択して、[追加と削除]ボタンをクリックします。



4 [実行]ボタンをクリックします。エレコムホイールユーティリティをアンインストールします。
「ユーザー設定を残す」チェックボックスをチェックすると、次回エレコムホイールユーティリティをインストールしたときに、前回の設定が反映されます。



トラブルシューティング

マウスユニットを動かしても、マウスカーソルが反応しない

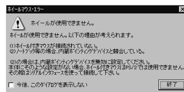
- レシーバユニットとマウスユニットの距離が 1m 以上離れている可能性があります。設置場所を確認してください。また 1m 以内に設置している場合でも、マウスユニットとレシーバユニットの間に、ディスプレイなど電波に干渉する機器があると正しく電波が交信できないことがあります。設置場所を移動するか、レシーバユニットとマウスユニットの距離を近付けてください。
- レシーバユニットとマウスユニットの ID が異なっている可能性があります。
  「ID を設定する」(20 ページ)を参照して、レシーバユニットとマウスユニットを同じ ID に設定します。
- レシーバユニットとマウスユニットのチャンネルが異なって設定されている可能性があります。
  「チャンネルを変更する」(22 ページ) を参照して、レシーバユニットとマウスユニットを同じチャンネルに設定します。本製品の出荷時はチャンネル 1 に設定されています。
- 金属製の机など、金属に近づけた状態でマウスを操作すると、マウスカーソルが反応しないことがあります。この場合は厚手のマウスパッドを使用するなど、なるべく金属から離して使用してください。
- マウスユニットのチャンネルスイッチが OFF に設定されている可能性があります。使用するチャンネルに合わせてください。
- マウスユニットの電源容量が少なくなっています。新しい乾電池を挿入してください。

ノートパソコンに接続して、アンインストールしたあと、内蔵のポインティングデバイスが使用できなくなる

本製品の仕様により、エレコムホイールユーティリティをインストールするときに内蔵のポインティングデバイス(タッチパッド、スティック、トラックボール)を書き換えます。
エレコムホイールユーティリティをアンインストールしたときは、内蔵ポインティングデバイスの設定を再度行なう必要が生じる場合があります。

PS/2 ポート接続で、再起動後にエラーメッセージが表示される

Windowsa95 で本製品を使用する場合、パソコンの仕様により、本製品をインストール後再起動しても、右のようなメッセージが表示されて、本製品が利用できないときがあります。(このメッセージは、本製品が接続されていない場合にも表示されます。)
その場合は、本製品を PS/2 ポートに接続して使用することはできません。



特定のアプリケーションで設定通りに動作しない

アプリケーションによっては、ホイールを回してもスクロールしない等、エレコムホイールユーティリティでは制御できない場合があります。あらかじめご了承下さい。
ドライバディスクにある readme.txt には、現在判明している最新の制限事項が挙げられています。

ホイールマウスのホイールが動作しない、またはホイールユーティリティの機能が使用できない

1 つのパソコンに複数のホイールマウス用ドライバがインストールされている場合、ホイールマウスのホイールが動作しなかったり、ホイールユーティリティの機能が使用できないことがあります。
マウスドライバの競合を回避するツールを用意しています。
次のフォルダに「マウスドライバの競合回避ツール」が登録されています。

¥win¥msconfil

使用方法はフォルダ内の readme.txt をご覧ください。

ホイールユーティリティのアンインストールに失敗する

[アプリケーションの追加と削除]からでもアンインストールできない場合は、「ecuninst . exe」を実行してアンインストールしてください。次のフォルダに「ecuninst . exe」が収録されています。

Windows®98	¥win¥Win98
Windows®Me	¥win¥Wn98
Windows®95	¥win¥Win95
Windows®2000	¥win¥WinNT_Win2000
Windows®XP	¥win¥WinNT_Win2000
WindowsNT®4.0	¥win¥WinNT_Win2000

ユーザーサポートと製品の保証

本製品の保証書は、内容をお確かめの上大切に保管してください。
本製品をお使いになっているときに、何らかのトラブルが起きたときや、操作方法や使いかたがわからなくなったときには、ELECOM 総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

商品に関する お問い合わせは	●エレコム総合インフォメーションセンター **TEL.03-5337-3024**	受付時間 9:00～12:00 13:00～18:00	年中無休

ワイヤレス・イメージセンサマウス
M-KD2UP2R シリーズ
取扱説明書(Windows 用)
2002 年 10 月 15 日　初版
W-KD2-1

- 本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。